

事業者名	宮城県									
機器名	高分子材料コンパウンド装置									
写真										
特徴・用途	<p>溶融した高分子材料に、これとは異なる物質を混ぜ込み、射出成形に供するペレットの形状で連続して吐出することのできる装置である。従前にはない物性を備えた新しい高分子系複合材料の創出が可能。</p>									
設置場所	宮城県産業技術総合センター									
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)	
					件数(件)	時間(時間)				
	H 26年1月									0
	H 26年2月	3						2		2
	H 26年3月	5						5		5
	H 26年4月	6						6		6
	H 26年5月	6		2			2	2		6
	H 26年6月	2					2			2
	H 26年7月	3					2			2
	H 26年8月	3					3			3
	H 26年9月	3					3			3
	H 26年10月	4					3			3
	H 26年11月	4					2			2
H 26年12月	3					2			2	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子系複合材料開発案件を推し進める中で、試験用の多品種少量ペレット作製に重宝。 ・社内の押出機は生産用の大型機のため、マシンタイム及びスケールの面で開発用途には使用しづらかったが、公設試への設置により、自社の生産日程に拘わらず且つ低料金で使用できる。 ・社内の押出機は研究用の小型機のため、物性試験に必要な材料量を吐出しようとする、長時間の運転が必須だったが、次工程に進むために必要だった多大な時間と労力が逡減できた。 ・強混練が可能のため、案件の最重要課題であったマトリックス／添加剤の均一分散性、すなわち安定した物性を発現することができ、結果として大幅に開発を推進できた。 									
補助事業概要の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-017koho.pdf									